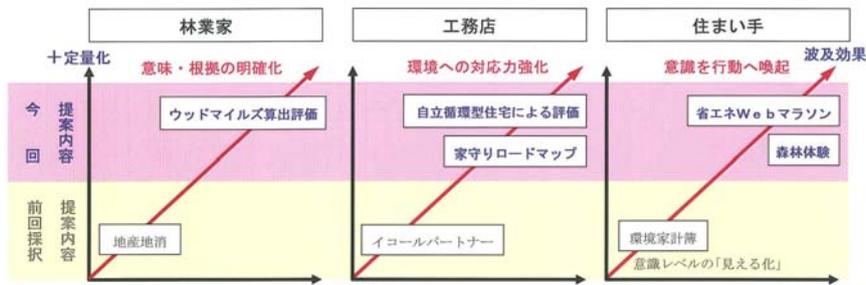


提案名	東京/森の木の家プロジェクト 2	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	東京家づくり工務店の会	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

前回提案（平成20年度第2回）で、評価採択された内容（地場工務店のイコールパートナーを軸に、地産地消、センサー等のモニタリングによる「見える化」の取組み）を発展させ、以下の考え方に基づき新たな取組みを提案した。

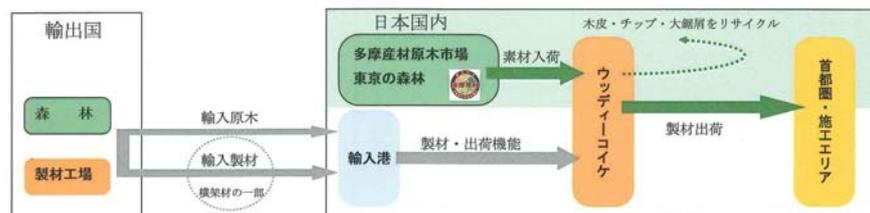
- (1) 地域産材活用の意味と根拠の明確化
- (2) 工務店としての環境配慮と環境対応力の強化
- (3) 住まい手の省エネルギー・資源有効活用の意識を行動へ喚起



■提案内容

- (1) 地域産材活用の意味と根拠の明確化

地域産材の環境貢献という側面について、ウッドマイルズ算出プログラムを利用し、林材地から建築現場までの供給ステージにおける木材のトレーサビリティ・木材の輸送エネルギー削減率を定量的に評価し、その情報を開示する。

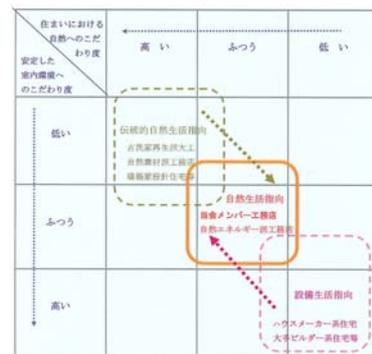


1. 地域木材活用の場合（ウッドマイルズ）
2. 木材のトレーサビリティ確保の場合（流通把握度）
3. 木材の輸送エネルギー削減率（ウッドマイルレージCO2）

- (2) 工務店としての環境配慮と環境対応力の強化

①自立循環型住宅推算ソフトにより得た評価結果の開示

居住時のエネルギー消費の削減と心地よい室内環境の形成を目標に自立循環型住宅による設計手法を用い、推算ソフトを用いて得た評価結果を開示し、住まい手が住宅の性能や自然エネルギーの有効活用に関心を持ち、住まい手の省エネと資源有効活用の意識向上に貢献できる。



②「家守りロードマップ」の策定

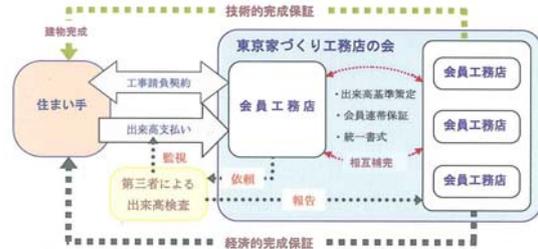
弊会のメンバー工務店各社から聴取した点検、修繕データをもとに引渡し後の修繕計画を策定し、それに必要な項目と費用を算出し、「家守りロードマップ」として纏め上げた。建物の引渡し時に住まい手に提示することで、計画的維持保全を行う動機付けとなり、住宅の長寿命化へ寄与できる。



修繕・改修交換累積費用 (新築時工事費 2600 万円の建物)

③弊会独自の完成保証制度の確立

同じ地域で活動する弊会の特性を活かし、相互補完により経済的側面を担保する独自の経済的完成保証を確立する。工事出来高による支払方法と会員による連帯保証により、万一の事態が発生しても、迅速且つ円滑に建物を完成させることができる。



(3) 住まい手の省エネルギー・資源有効活用を意識を行動へ喚起

温湿度記録計と公共料金等のデータをもとに環境家計簿を作成し「省エネ見える化」を推し進め、また、住宅の長寿命化セミナーで得る「学習効果」と多摩地区森林体験などの「体験効果」で森林資源の有効活用や省エネルギーへの意識向上へ繋げる。さらに、「意識」を「行動」へと喚起させるため、ウッドマイルズによる評価、自立循環型住宅による評価・環境家計簿による評価結果をWeb上で邸別に「住まい方・省エネマラソン」という形式で公開し、住まい手の住宅の長寿命化及びエネルギー消費量削減に対する意識向上を図り、具体的行動へと喚起する。



■提案者からのコメント

ネットワークやFCチェーン展開とは峻別した地域工務店の自主性による弊会の取組みと提案が評価されたことで、他地域の工務店への意識喚起に繋がり、新たな住宅供給トレンドが芽生え始めている。

また、住まい手セミナーの開催・住まい方省エネマラソン・小冊子発行等の活動を通じ、住宅の長寿命化とエネルギー消費削減の実現において、つくり手依存型から住まい手自主型への意識向上を促し、我が国における省資源と長期優良住宅の意義の啓発と普及に努めていく。